

城ヶ岳



令和4年6月30日
第10号
佐世保市立宇久中学校
校長 萩山 栄二

●学校教育目標 「ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒」

●教育理念 「磨く」「輝く」「光る」「子どもは『希望』である」

< ふれあいの日 >

■6月の「いのちを見つめる強調月間」の取組として、本校では、6月24日（金）～30日（木）の1週間を「学校開放週間」、26日（日）を「ふれあいの日（学校開放日）」として設定しました。

■今年度の「ふれあいの日」は、午前は「弁論大会」と「道徳授業公開」を、午後は「親子ポッチャ大会」を実施しました。当日は好天に恵まれた関係で暑さも感じられましたが、体調不良者もなく無事終了することができました。保護者の皆様には日曜日でも休日にもかかわらず、多くの方に来校いただきました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

■弁論大会では全生徒が発表してくれました。発表内容は、宇久のこと、自然環境のこと、SNSのことなど様々で、今子供たちが関心をもっている問題などを取り上げられていたと思います。論旨だけでなく、裏付けとなるデータなども準備されており、説得力のある内容にまとめられていました。自分の考えを発表する場があるということはとても素晴らしいことです。人にわかりやすく伝えるということ、これからの時代必要な資質です。本校では重点的に生徒に身につけさせたい資質の一つとして「表現力」を掲げています。今回の弁論大会がその一つの役割を果たすことができたと考えています。



■道徳授業は「いのち」に関する題材で授業を行いました。1年生は「いのちって何だろう」、2年生は「書かれなかった遺書」、3年生は「尊厳死を通して生きる」を題材として、「いのち」について考えました。それぞれ内容は違うのはもちろんなのですが、学年の発達段階に合わせて少しずつ考えていくことにも深まりが見られるようになります。6月だけではなく、年間を通じて「いのちの大切さ」を考えていく、人権について考えていくことを続けていきたいと思います。



■昨年行われた東京パラリンピック大会で、日本初のポッチャ「金メダル」を杉村英孝さん（「火の玉ジャパン」の主将）が獲得したことが話題となりました。ポッチャについて、公益財団法人日本パラスポーツ協会『かんたん ポッチャガイド』に次のような説明があります。

「ポッチャは重度の脳性まひ者や同程度の重度障がい者が四肢にある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツです。近年では障がいの有無に関わらず老若男女、誰でも楽しむことができるスポーツとして注目されています。」

■今回ポッチャを通して、生徒、保護者・教職員の誰もが笑顔で楽しみながら親睦を深めることができ、とても良い機会を得ることができました。ありがとうございました。昨年度は保護者・教職員チームが優勝したのですが、今年度は生徒チームが優勝しました。



< 宇久吹奏楽 >

■6月18日(土)に開催された「UKU吹奏楽合同コンサート」に吹奏楽部3名の部員が出演しました。当日は、宇久高校吹奏楽部、宇久ウインドアンサンブルの併せて3団体が出演しました。第1部は各団体が演奏をし、第2部は3団体全員が参加し大人数での演奏でした。本校部員は新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度は演奏を披露する機会に恵まれませんでした。今回観客の前で演奏する機会をようやく得て演奏する3名の輝く姿を見ることができて、うれしく思いました。今後も島内で演奏する機会があるかと思えます。その時に向けて練習に励んで腕に磨きをかけてほしいと思います。光り輝け、吹奏楽部！



< 6月の学校の様子 >

■6月21日(火) 国語科研究授業(2年生)



■6月24日(金) 水泳授業開始



■6月28日(火) 保健指導



■6月29日(水) 6.29 平和集会

